

立命館大学探訪

～今話題の「ぴあら」と日本文化デジタル・ヒューマニティーズ
拠点研究の一端に触れる～

現在、大学図書館において「ラーニング・コモンズ」と呼ばれるスペースを設けて学生を中心とした利用者の学習を支援する動きが注目されています。ラーニング・コモンズは、学生が自主的に学習するための資料や設備、サービス等を提供する場として設置されています。今回は、2011年4月にオープンした立命館大学のラーニングコモンズ「ぴあら」を見学してお話を伺いたいと思います。さらに、今回のセミナーでは、有形無形の文化資産のデジタルアーカイブ研究を推し進める立命館大学のアート・リサーチセンターの金子貴昭先生に現在研究されている板木デジタルアーカイブについてご講演いただきます。

見学

立命館大学衣笠キャンパス

ぴあら & アート・リサーチセンター



講師

立命館大学衣笠総合研究機構研究員

金子 貴昭 氏

演題：立命館大学アート・リサーチセンターのデジタルアーカイブ活動
～特に、板木デジタルアーカイブについて～

金子先生は「板木書誌学」という観点からの研究を行っておられます。印刷後の書物を眺めるだけでなく、その元となった板木の形やサイズと紙質の混在パターン等を研究することで、摺りあがった書物に現れた様々な現象について理解したり、近世の出版課程を明らかにしたりすることができるということです。

日時

12月15日(土) 13:30～17:30

(受付開始：13:15～)

会場

立命館大学衣笠キャンパス

意見交換会

末川記念館内レストランカラム
(18:00～20:00を予定)

参加費

大図研会員は無料
(非会員は500円)

申込期限・申込方法

2012年12月8日(土)

大図研京都ワンディセミナー申込フォーム

(<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20121215.html>) から申し込みください。

申込多数の場合、会場の収容人数を考慮し、早めに締め切らせていただくことがあります。

DTKK